



愛知県有物品

名區小景二編卷之下

熱田驛門飾

正部  
 全  
 白鷗  
 正次  
 清道  
 龍登  
 公彦  
 五彦

主係つかさとり一筋とさうりくくす門と竹のあちうみうと  
 乃せりかきまてちひく門さきり作れやとゆみちりて  
 中くろくし竹杖とちゆちの浦去くは家とめは遠屋くれ  
 門毎いといひよてはるあねのみさうりにかつちあひのうらま  
 十のさうりつくはりとく口きて竹の門の黒い色を白くさか  
 け剣のせむ申枕寺に輪田ちちちとえれはふ田屋のほま  
 うちまはれちゆさの門は松井小巻くしゆのちらとさうけれ  
 浦派のちとさうやの門帳をそのるより三俣の松永



A294

~~1-2-2~~

13

1-2-2



焚田驛  
門飾



中河原  
桃林

松風里

中河原桃林

春日平野  
世阿弥繪

回塘畫雲數家村半意桃花宛得源竈碑也知春到  
通鳥帶魚躍別乾坤

風文

以何の代と遊てらそふはつとよきやの樹の二り  
桜のふきうりくるとはらるるのまは中のかうりり

正徳

うーろまに馬ひききりや桜のそふ

和雄

黄山

まのうら風もをぬ糸もりな 寄陽

月おしりあうり町のねはうら 英齋

埜除く産のめもくや茨とけ 圖南

まゆひのえそや門うりり 松月菴

松風里



伏屋里



三十一

さひそのをそきておろしく沖ふそ舟りたつ風の里  
 天枕のうこぬは代のなまーやあまそはのすつせあさ  
 ちかけの多たひむりね風乃里の名をへて安りーか  
 位なけいんこのふかきやー花もくたーちふね風の里  
 とくとふすもりねつま路のまーくふかーよまつ風の里  
 名ふーかりあそもそのんね風乃里かひれえ路の毛衣  
 跡のそむ梢まきくすやちりや代ひくけね風乃里  
 れくハ風のまふもわつともよ美万代をすけ風乃里  
 みま月のあけさとーとに安あすの涼くもわらね風の里  
 里の名はしれくせまやそま人けくもま年のあまこーしー

重光  
 典達  
 武子  
 鐸子  
 文矩  
 宣子  
 種治  
 故一  
 安海坊  
 實惠  
 秋隆





河野坂



河和海

河和海

日まゝや小坂登りて文 衣 逸齊  
 喜風や坂とのかりよ言の終 市雪  
 赤くけの至履去をヤ履のむ 一陶  
 其手とすや旭れ登りて 月海  
 又と花ハバすれて苦の一本亦 圖南  
 わ政や吹ハふうれて浮森香 為津  
 風さけの香さまで有り浦江香 李曠  
 山二月海も月のけわくふ 泰壽  
 時行や戸ロハ海れ吹まう 英雀  
 くら桿や亦う彩を渡り香 月濟



秋きぬくさあつねよは中ふむうりさやけきぞの休短 知良

秋風よ吹 れて 鳴 や 林 の 汀 槽川

とんほく や 清くちまふら松栢舟 志友

風さとし 秋や 吹く 小口の 芳 李裳

鹿子渡 木考川 龜水

江村雨散澹秋光暮鳥歸邊霜葉黃吟到深灣欲留 牧山

我有久先我立斜陽 秀樹

水との去種流ハ行もほれうくて 鹿子渡の香のむきとえ 栗埔

はり端の樹うま海ふ里れ名の鹿さうやうの夕葉 文朗

川中のやみと 秋て ぼくれ

三三

緒川里

梵堂兀倚海西湾馳速看陸詩味閑粉壁綠梵參尾 旭堂

港青蓮玉蓋御助山白嶺雨細鷗城際紅樹霜醺蟬 重成

舍間月出雲沉新奇夜先僧袖手立松閑 綱煥

華宮林了願多景鏡樓極海冷靄紅樹山春豔白櫻 好道

光僧時烹茗過窓或吹笙此有仙松在龍吟和鳳聲 守胤

吹く小子の月をさき 緒川の寺乃山のま門風 種治

あま玉の踏川入けよとむのハは波のなと竟の初うせ

鳴くとも朝の景れ 歩まら玉の流門の里比ひ 西

ま波うとれうわねうや歩の玉の流門の里比ひの示

里十有丁願寺浪信諸山皆在一隅

丁願寺前光松院和云

了願寺前光松院和云

了願寺前光松院和云

了願寺前光松院和云

了願寺前光松院和云

了願寺前光松院和云

了願寺前光松院和云

了願寺前光松院和云

了願寺前光松院和云



錯川里  
了極寺眺望



津島川

廿里と申も人々や舟れおのへまより雪の糸みだせり  
法門里は平泉城跡ふまて  
 縁路の端とこわき寺あり人めさくほのみりとつて  
 冬のまつくつらばも舟れおの異舟月のむらりむ  
 いつこてもみのりれおのきんおわひらふく雪とやまの危  
いづこもこゆもともやき舟のあまふむ法門の里に一切  
 今八里の名小のちゆさうのちよ水屋月が考りりり  
 ちゆ流のよまるとえい舟のをやとらハの里れ名は流れむ  
 ついこ舟よ三河もえりてかすい池  
 芥戸先やむ一町やまね花のわまり  
 舟の赤やあゑ松と泊りせ  
 田れおけのまてりのゆき松やふふ

重庸  
 意然  
 義周  
 普行  
 浪九  
 密念  
 實惠  
 喬柯  
 甫汲  
 方實  
 松月菴

西岸寺



木々崎



津嶋川

わが江一津島の波芳とてさやうふくぬきの川よ

及びいて 紅煙とや 草乃 赤

川 庭も又して 汐石のありさか

六月もあつハ 立け 夏水の音

西岸寺

白海無垢村

早梅探地峻海國欲無冬推戸 閑看畫壁波千鳥重

張海南邊勝景閑 祇林高閣望奇武 髻鬟當面朝無

嶽潮信隨風到梵堂

白泊のうけりて さらば けりて けりて けりて

ゆらけとて ちと ちと ちと ちと ちと ちと

正命

静嘉

秋湖

喬柯

精一

徳瑞

中人

楮月

水ヶ崎春興

寺 けりふこや名月のあうりう柳 西涯  
河ふーけ山里渡ー秋乃 寺陽

長母寺中松興櫻蒼姿艶魅慰人情醉来歌舞山門 質  
外義隊佳人叢妙聲

寺在平原遠世塵只逢探柳覓花人白沙綠水烟霞 惟孝  
色畫出江天三月春

春のけを本く倍きてあー霞の山田河あよ人のむきけ  
ありてーりけいこももけのや色さうわてきさけのそ  
道直

晨業  
疾非  
茂松  
春風や人の虫遂入裡もやー  
春のけの茶とあそくや乃茶拈

櫻田

年魚市傳りともえきけり苗代より楊田代吉とんくわ  
わゆらーと世家きまのけり田の鹿かぬれ小藤坊よりけ  
大成  
典建

春うひき飛つたれと世家きまうての春もさるー四うを  
月まへも初よりう居り楊田の枝のかけりすむゆふべを  
森房  
保右

黒う代の花びさるー四らーせ流し流も群つて楊田中けり  
鳴海浮沙しらんまはるー田の芦也ま持も友流乃舞  
貞影  
補壽

冬らうき 雪の花 心 落の夢 旋雅  
春 麦の風や 何 承くー吹く 芳堂

草水宮 加多郎 草水社

乃登りー社と流して里のなげ茶本も妹の名とえせりり  
寺淵



入道松



野田渡

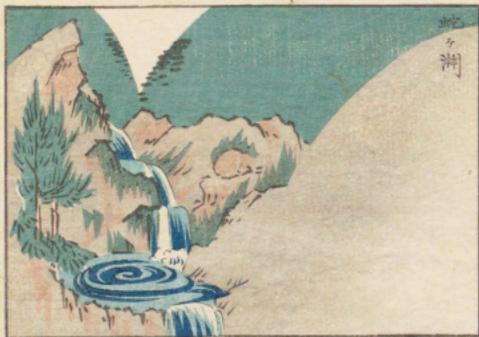


野田渡時雨 中並終

日ハ入ぬ時雨ハ降ねわ〜〜チミフコトヤコトおどろきし  
 村よ〜ハムウケリハ〜ネ〜智〜小世田レ渡リ不耐あきふりり  
 船よ〜小世田の渡れ村〜々れま〜人ヤ沖ぬ〜〜り  
 風もや〜伊吹〜々けハ雪もれて野田の渡り小世田渡り  
 舟マ〜野田のワ〜りの夕ムま〜門風〜て渡野田  
 中島の世田レ渡り小世田〜ハ水〜りとも〜れきふけ〜  
 うちまゆとも〜も〜ぬもつ〜小世田の渡りの初〜り  
 船人〜世田の渡り小世田〜舟〜りす〜〜り何あか  
 ち〜人の後謝あ〜る小〜舟〜り〜〜り何あか  
 こ〜りさの〜とけヤ世田の〜〜〜ち〜〜り〜何あか

南景 芳齊 為政 良兼 好道 正次 伯城 千泰 秀易 延女





堀田

稲荷

知多郡  
大見村

艾 祀ハ 帆一 てもん や 春 の 風 信 吉

かけよくもあやまのこいあまつまつしりぞきの大舟

智山

ういこやまのこいあまつまつしりぞきの大舟

春豊

あつた人のこいあまつまつしりぞきの大舟

政時

ふ代はくもかうむつこの堀田のこいあまつまつしりぞきの大舟

直通

てり物とすやいあまの堀田のこいあまつまつしりぞきの大舟

志友

け 園あつたもや稲荷の稲田

蓬南

出と月と香は足せひつちり

國水

稲多れ玉げくと善く社り

千葉

か寸くや香石の中れ冬

花生

堀田稻荷



呼續渡



呼續渡

敗蒲枯菝乱象耳海岸秋深冷霧重遠音断續影尤  
淡知夢洲對淺間峯

橘菴

ろくしゆのたしひつこのほらよりわくを中とのふゆしら  
ふゆしゆもかたし旅人のかのう友とやしひつここれ娘  
法のまも今いそぐふあしうく左にひびくとつまは  
小松よもつちうすゆふまささささ友しひつこのほつし  
かのうしちら友しひつこのほらよりまもやらもる旅し  
友あちめれこつふまきやまをわくしふしひつこのほ  
汐風よほるとかて友あちあ代やいふかちほほれんぬ  
ター舟の千ほのしむたうつたれしひつこのほを郷しん

智建  
種治  
正明  
廣持  
武子  
賢増  
義住  
宣子



琴

松松崎野町方  
大森松、うら

千歲松根老作嶺高山流水自成鄰如何此曲和風  
好想得伯牙是後身

葉、枝、幹亦工業枝周巾互生風禁操松樹風中  
趣弦上不勞與意同

知多第一萬年松耐、森、翠色濃海岸吟風如鼓

瑟可憐清操耐三冬

浪のまふちとをいひ琴深の松吹風も名さうりけを

風吹はよりうらほもまをてまうとたうら琴深の松

玉琴の風はあうらけ松のまより人やまかうら

久うらとらやうら小松うら風のまやうら琴のまをり

政文

龍助

信貞

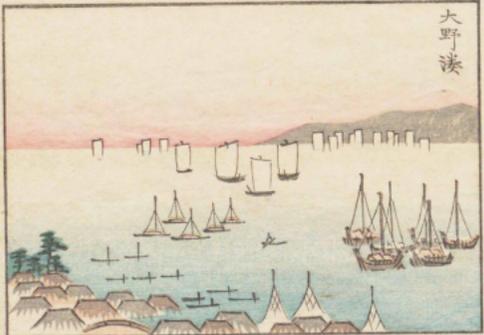
全

良武

大成

景惇

大野漢



琴彈松



浮ノ宮



蟹江古城



江ノ宮

わきいこのちあふ琴のさね人月まきやりさねの松風  
 山風の吹あふまうにまうそくふ代とあふふ琴浮の松  
 花松の枝ハ糸もをけあふ風をあふふ琴浮の松  
 吹あふ風とハ糸もをけあふ風をあふふ琴浮の松  
 流風とあつとの流よりあふふ風をあふふ琴浮の松  
 まを風のあふふ流りハ本のりたわをうまうそくふ代とあふふ  
 琴のま代月まきやりさねの松風とあふふ人  
 松風とあふふ松風とあふふ松風とあふふ松風とあふふ  
 松風とあふふ松風とあふふ松風とあふふ松風とあふふ

浮ノ宮 三田崎十 照世村左

鳴香のまけは浮のまけはうまうそくふ代とあふふ

うまうそくふ代とあふふ松風とあふふ

嘉寛 豊信 清英 文矩 義住 利見 甫岳 歌夜 利見 花洲

時の果や 鳥よもうせてほつて  
町有  
町 五てりき 一りのり 香う 菊  
東岳

蟹江古城 古城晴嵐 蟹江志

千畝菜花 黄種如梅 古城飛鳴 昔天子嵐外 再春晴 精一

古城臨 曠野暮日 稻田開 秋嵐晴 曳翠拂拭 雁邊山 尚敬

今八く 名のし 妙りて 古城の ありし 小はつち ありて 元清

けちり わけ おもひ かもむ 塚の ちとの せれて ちやむ 辨あり 猛勝

いさ 向も せむ びん びん の こと せ せ せ の こと せ せ 木阿

以て して 野の 清浄の けしき せむ せむ の けしき せむ せむ 南景

森津 藤花

村景 蓬々 日 最長 横塘 一帯 去尋 芳藤 花 遍 敷人 成 操齋

市華外 奇市賣酒 忙

一本 こと かく 地 じあ くと ひろ くと へさ けつ 藤 けしき の 衣 仗 忠長

いく 年 こと りの 里 けり けり けり けり けり けり けり けり 秀樹

よと ける せ だ けり けり けり けり けり けり けり けり 秀樹

ちや せん けり けり けり けり けり けり けり けり 國綱

ちや せん けり けり けり けり けり けり けり けり 廣達

又 けり けり けり けり けり けり けり けり 徹宗

さく 藤 けり けり けり けり けり けり けり けり 狂勝

秘 つけり つけり つけり つけり つけり つけり つけり つけり 便館

く せき 日 や 雀 けり けり けり けり けり けり 頼一

蛇 降 も や けり けり けり けり けり けり 柯有



勝川里



光園寺



光園寺

百瑞村

こととをみわけてこりく御は—をまてすうし活門の水  
 名所へ又も居て元も武士の名もふさ—き勝川乃里  
 為くわと—吹折 藪やうりのそれ  
 庭くま川 糸の茶や虫の夕  
 ニ雪へ口わて泳—や火振れ火  
 秋 風 やと—うりま所の 螺の夕  
 光園寺 百瑞村  
 名所中二あちわい—きく存けん 津うりのあかけん  
 存けんの名—やハ—んりちあまの名—も—誰の寝や控けん  
 寺—にもゆ法のひ—マ—りき—てさのきりもれまきりつ  
 寺—の時のあ—や—寺ふ—て—わ—と—む—り—ち家

茂岳 連彦 列根 貴朴 朝青 米壽  
 季廣 木阿 猛勝 為永



楠天神社

内は楠村  
の邊に在る

氏人とさしもえ一ひのなれ種まよ石のちねたりふ  
沖凡のつやふたふたあうりよりあうりその雲の清さ  
いふこのけびさひいふいふもそのあねの井はまん  
ゆあまの八坂の井とこの里にうつあねふいととさ  
以里ふいつとあね、男山そのあもさねふはあうり風  
あう代のあ代、万代とまんとあうりあうり度娘の井  
稲葉驛雨後

雲送奔雷雨尚寒漲来田水曉湯、時横天末晴靄  
夏恰作紅霞彩霧看

宿雨新晴洗白沙驛亭門外路也又街頭松古翻空

正部  
守胤  
直虎  
徳瑞  
中人  
光武

翼堂

弘道

時志山



塚川



久須天神



柏葉驛



四二四

翠一色青天日未斜

驛路雨初歇客衣露未乾遠密雲新霽制却日三竿

切一畝の千木神上秋風よそくいふその行白とそくゆ

五とわてゆとつさくく里は名のいさのちも名もかりし

五もしし橋本の風れもすれよありといふのあこりしん

確り丹方らちそあてて秋の田けへなまの路あもしれれり

夕まもとわてつれのあこり橋のうしひの神のりしつ

ららまれいふのもも五馬馬てあり人のさしもあり飲

茶拂りもたらしめりうののさしめのあり

涼しさや洋止むらの人をり

夕まや高ききりり茶のえり

秀蔭

全

清怒

暢温

錦子

農業

連房

炊元

少平 朝音

静言



三本松



六角堂



三本松

余合の天勝 越けやハミ 震 紫風  
 水よけハ君の川うり 郭云 湖柳  
 砂川の浮泥々ハく砂屋 くれ 百川  
 旁ろ子 庵て 老き 竹承 くれ 都柳  
 生路 演

月信 得惠  
 豊信 豊信  
 月信 月信  
 秋湖 秋湖

大昔三本松

昔行  
 竹里のさうゆく多と見ふり三本の松の枝とうて

さうえん思し松のちきりこといきぬふのなくし  
 名もてて野もさうえんひより大音の里の三木の松うえ  
 松の葉は野名ましや十二月  
 音つんて三本松の松有う耶  
 針小かすめ大音の三本松  
 六角堂野ひちやや  
 在度  
 直道  
 楚山  
 春壽  
 春草  
 便館  
 襟渚  
 静嘉  
 春松

わりふきなまふ六のむさりあふふりなりにさの音  
 松とありて所れは涼き沙堂水  
 音ままく又く新細けの小まうれ  
 芭蕉忌也倍の名まぬ密斗り  
 龍興寺池  
 春松

龍興寺池

秋風よゆとたれよは比の閑よあくれる空のうらく  
 白鳥の悦吹りかすきうれ  
 りくくく日のまつつや誓の衣  
 紫風  
 呉樂  
 篤志

扇 嶋 様は安可す  
はまかち

多小ちしは風よハ所て存一水一くきあまの均無  
 麻島名一ハたハてひきうも津くき一仲津伊凡  
 とことら津のあとあき湯未ひわくれのいのいが  
 琴の深の松風をさ小唇一も存の曲小一をありし  
 仲言う一又曲一其の入り小  
 清英  
 文聖  
 玄豊  
 龍屋  
 春松

鬼ヶ音  
 抄ひ小津燕のもなて吹落て鬼うきはらはらら  
 興連



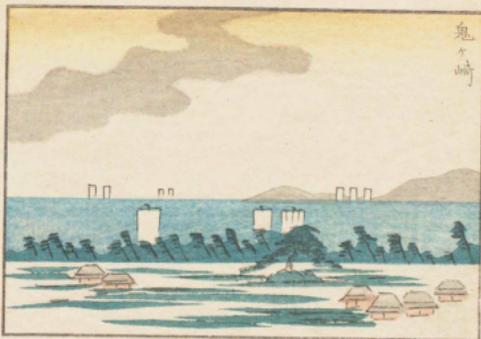
竜奥寺池



扇島

りの河通ふ人こそあせよ名もあともなき鬼修由  
 風とつゞき鬼のつばのまきく名もあともなき鬼修由  
 け風よたもりこい鬼を修すはみくればはの花の乳  
 高砂るは鬼を修すり又後せハ伊勢山をけて葛城川  
 鬼を修すたはく流のちくまハ遊戯の豆をうつけき  
 眼よ 兄 中 解 きの 風 や 波 の ち  
 破 ろし 小 ま よし 小 ま や 鬼 う 寄  
 鬼 ろ さ し 散 さ ぬ 兄 せ よ お よ う さ 記  
 酒 け よ 追 り れて は な く ち と り う れ  
 玉之井里 長狭郡 寺井村  
 深林存古梵長傍舊祠壇有入来拜井水猶凛平寒  
 貞俊 有豊 嘉寛 光澄 便館 市雪 恭壽 春草 秋月卷 有齊

鬼ヶ崎



玉之井里



五十五

名區小景ニ編卷之下畢

汲あけて清しけりちこ小里のなまこく足舟の玉の井  
 うつこいこいおれ計代より流いつふ一玉の井げあ  
 秋の装束を穿てする月夕とえくおく足む玉の井の里  
 守りもつれらる月をきうとておもひあまきまの井の里  
 採りあててきけりやももかき一甲くおまの玉の井の里  
 足くこの一りえれりつりけ早さくれ  
 枝ておれ水よすけり水帰る  
 一所よあきまて文の礎  
 水くくあるりさやてそれめ秋

利恭  
 秋隆  
 義住  
 義周  
 宜子  
 李曠  
 路夕  
 桂李  
 龜水

弘化四年丁未冬十二月脱稿  
嘉永元年戊申秋七月上梓

八十景  
詩寄達信  
七百十五首

漢文序  
公書  
和文序  
公書  
跋文  
扉書  
外題書

奥田文治郎  
加見屋又藏  
賀田周山  
鐵屋庄三郎  
栗田良祐  
深田精一  
林惣左工門

小田切傳之丞画  
杉本愛七筆

千歳園藏板

卷中人名録

謙堂	笠三多	榎田懸四舟	嘉寛	トコ	平松志老信
陸子	杉ノ丁	和雄 女	茂成	大ツ丁	伊波藤次郎
意然	アウキ	和来主黄伝	興達	三郎	長尾急次郎
森房	オノキ	二村攝テオ	千泰	オノキ	山本惟之介
秀蔭	アノミヤ	賀田周山	清英	オノミヤ	吉田琢郎
正蔭	イダキ	鈴比奈をニク	喜天	堅杉十	笠山令孝
かつ	オノキ	文徳院祝僧	喜天	オノキ	赤徳吉崎子
龍屋	オノキ	築田龜漢	公彦	オノキ	山田徳八舟
五三茂	オノキ	杉浦勘吉	喜彦	オノキ	皆川宏中三
亜紅	本町	三川登治六	梅門	オノキ	畠田保十郎
烏津	オノキ	永井松吉	梅裡	オノキ	明賀法雲院
思文	オノキ	和川中十郎	雷二	オノキ	木全玄治



重伴	カキハネ	宮崎英代	京井野	赤呂供平
圓什	カワシ	来造子院住	栗壙	梨古左衛門
雀叟	ワタリコト	花史風ヤ	春草	祖父仁英代
九泉	カキキ	浅井俊一	秀樹	林去光
清茂	カキミヤ	依分右京	茶川	安達右衛門
一森	カキノキ	柴田林吉	春松	山古左衛門
圖南	カキカ	竹内秋夫	櫻齋	村津季英
宝陽	カキチ	村井文次	實惠	才頼子院住
道直	カキヤ	北口市右衛門	貞足	山内采女
正明	カキヤ	林 慈	文貞	恒川文女
利増	カキヤ	榑田深茂	一溪	浅木弁
錫煥	カキヤ	松下源	景悖	浅川右衛門
長久	カキヤ	柴田七休	德瑞	宝樹院院住

四二四

秋湖	アキウミ	糸代金秋	静嘉	上村孝	坂本武七
松月菴	シラノ山	竹内友次	静喜	上村孝	坂本武七
烏朝	カラスアサ	大関右衛門	三輪堂	三輪孝	三輪孝
三輪倉	カキヤ	三輪清二	義周	本北	成田俊
南景	カキヤ	称念寺院住	茂東	アノツ	大九郎
堀道	カキヤ	东光寺院住	君政	アノツ	常念寺
桃里	カキヤ	辰田六一	梅樹	大谷	廿四和徳
藍川	カキヤ	竹田波輔	蓬南	半田	徳和院
鳳文	カキヤ	栗田文彦	有園	春草	種松物次
直通	カキヤ	中津屋	延女	中ノダ	岩田小孫
久足	カキヤ	山内氏	龜水	上田	足立小右
萬渚	カキヤ	神谷内	正廣	原三下	松平竹
文格	カキヤ	墨田古	守置	セト	二重流

松涛	中三宮	加茂幹之助	巨角	二宮九右衛門
春涛	六多郎	茂美及	正秋	川村多喜富
益徳	小井下	三浦又四郎	柯有	大空
旭暉	丸ノ下	中ノ氏	砂郊	六条
李徳	ニハ	ミの右木三平	雲奇	中ノミヤ
義住	イシノウ	天竺寺院住	利見	徳上田
豊倍	イシノウ	樋口九多の	伯城	今ノ村
大河	オホカ	長福寺院住	賢増	水ノ
鷺室	カダハ	成術友一守	一二	カスガ
耳洗	イシノミ	久中哉好	好道	二宮
猛勝	カニ本下	花井豊及	英徳	在ノカミ
村諱	アイナ	小坂若吉	乾齋	三沢
補寿	カニト	加茂保之助	英雀	手田下
				三浦武右の

三三三

千疇	セシノ下	山田叔右の	正奥	三沢	楠赤之備
秋隆	オキノキ	墨八百八	真角	馬右下	斗村多ハノ
采月	アイナ	赤玄意	清亮	十川	如坐和泉
種治	オホ	永田上徳	守胤	アイナ	音山防守
金毛	アイナ	言岳科之助	正有	中ノト	茂出重子
算茂	ナヤ	澄や松之助	夢齋	堅杉下	芝山談次
惟孝	オホ	江崎又七	雪村	大赤見	坂ア若助
醉雨	南天屋下	竹 某	直政	スナ	梨田良祐
牛遊	アイナ	大悦院院住	寿會	オホ	中ノ山談次
永成	オホ	中ノ山島屋	免農	オホ	大徳 氏
晋菴	代玄下	児玉堂一節	正園	カニカ	尾川 林左
倍之	エヒヤ	何 某	木阿	カニ	密原寺院住
邦光	カニ	尾川 林左	紫山	カニ	湯井 甚右

藤城	上者知	村俵平次	水齋	犬山	石水法也進
武子	カキヲ	三田村の女	諸春	カキヨス	石尾守茂
芳雄	中田井	依後彦一	豊水	半田	小栗才七
一清	二ツヤ	淡和喜彦	精頼	上バタダ	柳川康直
霞曉	山王	加後彦俊	芦江	大田	跡七六
露井	三ノ九	榎井氏	カキ	オカダ	中島七郎
楚山	オカ	内後信彦	國水	オカダ	板中彦吉
山月	オカ	山本利彦	山樊子	オカ	才九郎
如泉	オカ	丁子彦彦	東宇	オカ	岩井忠彦
列根	オカ	小沢彦吉	緋川	オカ	白木忠彦
藍光	オカ	河村元吉	玄豊	オカ	菅延彦
左柳	オカ	小島久彦	橘菴	オカ	三田圓地
茂元	オカ	沖ノ氏	正宮	オカ	赤井文船

三四四

文矩	オカ	久井友進	正命	ヤノ村	柳七依心
中人	オカ	衣浦彦一	光澄	オカ	井上橘彦吉
郡清	オカ	井田信八	貞喬	オカ	八木辰彦
洲屋	オカ	志文	志文	オカ	八木辰彦
大年	オカ	大田九市	弘道	オカ	赤尾合二
助護	オカ	松園大炊	市宣	オカ	赤尾合二
三省	オカ	岩城乃祐	正韶	オカ	赤尾合二
白鷗	オカ	浅味中興	正次	オカ	林忠彦
清道	オカ	杉本法助	寄陽	オカ	若川忠彦
重光	オカ	井出富彦	鐸子	オカ	若田氏女
鵬居	オカ	吉示氏	精一	オカ	深田精一
在度	オカ	大田辰彦	知良	オカ	小島左京
樽川	オカ	白木彦彦	李棠	オカ	大田辰彦

一瓢	路	為政	艾石	桃齋	瑚璉	芳臺	茂松	指月	浦波	浪丸	重威	牧山
カスガハ 水ノ	カミヤ タレヤ タ	カミヤ タレヤ タ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ
長谷川源流	この名流をの	大江吹次	千里亭	竹内金了	竹内信をの	辻村尚き	藤尾 某	西尾景現住	村岡守をの	村上宗を夫	築田孝三郎	飯ノ森彦の
桂尾	帰雄	秀易	芳齋	茂岳	蓼臺	好治	貞影	實	方實	露念	普行	文朗
カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ
生田勘十郎	麻毛兼四郎	林能源子	大江長月	植松彦をの	竹内市之進	牛田彦を介	中村文高	林忠次守	越境景現住	心利景現住	仁 某	

三三三三

蘭齋	廣達	忠長	尚敬	哥彦	政文	我竟	長久	廣持	光生	政時	智山	成一
カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ
栢月ノ次	溝口友九郎	作世周平	山口小十郎	皆川右保彦	浅井赤色	寺西彦をの	松永多神	粟永小右衛門	奥沢忠彦の	彦知多分	田中吾平	志田漢吉信
米寿	徹宗	国綱	元清	東岳	信貞	建陽	而后	錦子	智建	千紫	恭豊	信吉
カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ	カサキ
加茂某助	正法景現住	俊敏為をの	山口景をの	赤橋景現住	平井彦宗	柳下園	涉谷屋吉忠	老尾 氏	中井半六	中井能神	沢田三三郎	前水景助

貴朴	杉ノ	後夜芸助	義福	三ツ小森	中尾ノ小森
南窟	アリツ	村田名越信	直虎		香山圖書曲
光武	チクヌ村	沼井半左	清恕	中ノイナバ	山田遠三舟
陽温	ヤレイナバ	伊奈良妙	妙丸	中ノイナバ	山田武三舟
湖卯	中ノイナバ	伊奈良妙	妙丸	イナバ	久北謙吉
都柳	赤日	櫻井多喜丸	得惠	イナバ	正頼正現信
榊渚	ミヤト	帆丸清夜の	篤志	イナバ	文瑞寺六
貞俊	キヨス	交差端ナ吉	桂李	ヒキキ	伊茂某

1515

上巻と下巻とをいへば海乃三浦と又方々見えむ  
 こととおかしの今何し事ぬかり此三巻よ大いにお編り  
 せしむるはなかりぬと云ふこと又もなかりてはなはるる  
 挿しつる所と云つ集めかすけれどおのれかめ  
 ていふとく春に之様本おたごをていふとく世も志え  
 たりしとぬりして勝景は模写も人けりれとてむる  
 とおのれおひてけりぬお小森と云ふは是れおとかに人  
 々の中にお真景と云つていふはしめかすはなはるる

あつみやわめて海川のふゆ沖のけりは事も  
つゆのふゆはむひくもたれはこころはむじんか母小  
いひかこ指うくふて名區とまるれ一跡もむく下  
又人名録とくれとこれとららうの詩はそれよこのか  
れいそあなとあつみやわめて海川のけりは事も  
意味よふくもつゆのふゆはむひくもたれはこころは  
むじんか母小

あつみやわ

栗田直政



水野

水野

三夕

